

	柳田国男	南方熊楠	折口信夫
1884 明治17			
1886 明治19			
1907 明治40	自宅にて「郷土研究会」		
1908 明治41	宮崎県椎葉村滞在。 佐々木喜善との出会い		
1909 明治42	「後狩詞記」	「牟婁新報」 社主毛利清雅に共鳴 神社合祀反対の投稿	
1910 明治43	「遠野物語」 新渡戸邸「郷土会」発足		
1911 明治44	南方が東大教授松村任三に送った二通の長文 の手紙を「南方二書」として柳田が印刷各識者に 配布して神社合祀反対運動を助成。(文通開始)		
1913 大正2	「郷土研究」		「三郷巷談」投稿 柳田との出会い
1914 大正3		→「太陽」に連載開始 『十二支考』	
1921 大正10			
1925 大正14	雑誌「民族」創刊		
1926 大正15	文通断絶。その間の書簡 南方→柳田、計161通 柳田→南方、計74通		
1929 昭和4			「国文学の発生 (第3稿)」にて 「まれびとの意義」
1934 昭和9	～36 「山村調査」開始		
1935 昭和10	「民間伝承の会」設立		
1937 昭和12			
1939 昭和14			「日本評論」14巻 『死者の書』
1942 昭和17			
1947 昭和22	「民俗学研究所」設立		
1949 昭和24	「日本民俗学会」 (「民間伝承の会」改称)		

1961 昭和36	「海上の道」		
1974 昭和49			
2004 平成16			

坪井正五郎

白井光太郎

日本最初の人類学研究会  
開催

名称「じんるいがくのとも」

「東京人類学会雑誌」にて  
日本先住民族に関し「アイヌ  
ーコロボックル論争」

渋沢敬三

柳田との出会い

「アチック・ミュージアム」  
開設  
雑誌「民族」スポンサー

「日本民族学会」

民族学博物館 開設

「日本常人文化研究所」に  
改称(アチック・ミュージアム)

渋沢の提唱により  
「日本民俗学会」へ

国立民族博物館

「日本文化人類学会」  
（「日本民族学会」改称）